



2014.8.17 聖母行列

雑談使徒職

助任司祭 アントニー神父

「雑談使徒職」という言葉を初めてお聞きになる方が多いかと思えます。私も先日ある方から薦められた『福音を生き抜く』という本を読んで初めて知ったのです。著者であるキャサリン・ドウ・ヒュイック・ドウハーティ氏はロシア生まれで、トロントのスラム街やニューヨークのハレム等で、貧しい人々に仕える「フレンドシップハウス」と呼ばれる使徒職運動を始めた方です。この本には彼女の現代に福音を生き抜く預言的メッセージが盛り込まれています。

著書の第9章「福音宣教」に「友情を通して人々の真の必要を発見しなさい」というメッセージの中に「雑談使徒職」という言葉が出てきます。彼女はこう書かれています。「他者を愛する際、私が使う一つの技法は、私が『雑談使徒職』と呼んでいるもので、一対一の打ち解けたアプローチです。これは、愛する方法、物的なものであるうと霊的なものであるうと他のものであるうと、人々の本当の必要を発見する方法で、私たちのグループは常にこれを用いています。」この部分を読んでいる内、先週の福音朗読を思い出しました。「兄弟があなたに対して罪を犯したならば、行って二人だけのところで忠告しなさい。言うことを聞き入れたら、兄弟を得たことになる。」この主キリストの勧めはまさに「一対一」のアプローチではないでしょうか。罪に関する場合はなおさらですが、日常生活における誤解や争いが起きた時、この「一対一」のアプローチが分裂を防げる大切なことではないでしょうか。もし日頃からキャサリン氏が促進されている「雑談使徒職」を勇気をもって行っていれば、事前に誤解や争いを防ぐことができるように思います。この必要を発見することができるようになるのです。これこそ私が私たち一人一人に望んでおられることではないでしょうか。

勇気をもって、聖霊の導きにしたがって兄弟姉妹と顔と顔を合わせて、「一対一」の「雑談」をしようではありませんか。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ後、聖体礼拝)
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

中高生会主催親子親睦会に参加して

伊澤美由紀

天候不順のこの夏、8月23日の親子親睦会のこの日も雨が降っていました。その為、親睦会はアントニー神父様の特別なご配慮で司祭館の車庫で行うことになりました。マーティン神父様とケレハ神父様にもご参加いただき総勢26名程で話に花を咲かせながらバーベキューをおいしくいただきました。本場のインドネシア料理の紹介があり、お腹も心もいっぱいになりました。ご提供くださったご夫妻がお子さんたちと共に祖国に帰られると話されていたので、感じるものがありました。バーベキューの後には、雨が小降りになったので花火も楽しむことができました。準備や片付けで子ども達お母様方の協力し合う姿は良いものでした。

この親睦会は、子ども達同士や親子の互いの絆を深める良い交流の場であり、ご夫妻の愛やご家族の愛を深める時で、すべてが天のお父様の温かい愛に包まれた時であった気がいたしました。いただいたお恵みに感謝いたします。

中高生会合宿に参加して

内藤 聡

朝7時に家を出て向かった教会。これから行くのは、若狭青少年自然の家である。

ここでした事で、特に楽しかったことは、貝がらロウソク作り、カヌー、ハイキングだ。

貝殻ロウソク作りは、貝の中にクレヨン溶解したロウソクを入れ、固めるというものだ。やけどせず、きれいにできてよかった。

ハイキングでは、山を登り、頂上まで行った。と中で、サワガニのカニ太をゲットした。最初はかわいがっていたけれど、ハリポッターの話をしていいるうちに、逃げられてしまった。

カヌーは、うまくまっすぐにこぐことができなかつたし、ゆれて気もち悪くなった。でも、なかなか出来ないことだったので楽しかった。

去年は用事があって行けなかつたけど、今年は楽しかったので、また来年も行きたいと思った。

宮本 真吾

朝早く家を出発し向かったのは、南山教会。重い荷物を肩にかけ、初めての「中高生会合宿」に、少しどきどきしながら大聖堂

へ向かった。

そして、長い旅が始まった。四時間の間、道を間違えたり、三台の車が離ればなれになったりしても、最終的に終結することができてよかった。神様のおかげだと思つた。

楽しかったことは、グリーンウオッチングとカヌー。

グリーンウオッチングでは、さとし君とカニを見つけたり、ハリポッターの話をしたりして楽しかった。

カヌーでは、三人でバランスをとったり、進行方向を調整したりと、とても大変だった。塩水を三



回ぐらい飲んだ。とてもしょっぱかった。こうして、みんなが、元気に合宿を終えることができてよかったと思つた。

セシリア ララス

今回の夏合宿の前日には、天気が悪かったので、正直期待できなかったです。しかも、出発の前に雨が全くやまなかつたので、行く気がなくなりました。

しかし、車で楽しくおしゃべりができてうれしかったし、海で遊ぶ時に晴れてきて、思いっきりはしゃぐことができました。久しぶりにカヌーに乗ることができて楽しかったです。

それ以外にも貝殻ロウソクと若狭塗り箸を作りました。自分のは全くうまくできませんでしたが、



持ち帰って大切にしたいです。

おいしかったバイキングや大変だったハイキングの後に食べた焼きそば。とても良い思い出を作ることができました。

(ララスちゃんは十月初め、家族とインドネシアに帰国します。)

芳賀 勇

久しぶりの中高生会の合宿に、たまたま予定があいていて参加することができて本当によかった。

今回は若狭湾青少年自然の家で、普段では体験することのできないカヌーや若狭塗りばし、貝殻ロウソクなど、いい体験ができ

て、大変だったけど楽しかった。最初は、天気が悪くて、海に入れるかどうか不安だったけど、現地についたときには、雨も降ってなく、水泳をすることができた。予定どおりに進めることができて本当によかった。

2日目のグリーンウオッチングで、いろいろな木を見ながら山を登っていった。意外と道が長かったけど、ゴールしたときの景色はきれいで、とてもよかった。

最後に作った焼きそばは、作る時にすごく熱くて大変だったけど、みんな協力しておいしく作ることができて、みんなの仲がより深まった気がするので、いい合宿になった。



コーヒーショップ25周年

東北支援グッズ販売(青年会)



2・ゆるしの秘跡

洗礼を受けることによつて人間は、神の愛と命にあずかり、神の子どもとなりますが、「古い人」つまり自己を中心とする生活への執着や悪への傾きを完全に脱ぎ捨てない限り、この人にも罪を犯す可能性があり、(月報なんざん第603号の「洗礼後の人の状態と課題」を参照)。この危険性を誰よりもよく知っておられたイエス・キリストは、元々神にしかない権利、つまり罪をゆるす権利を使徒たち、また、使徒たちを通して司教、並びに司祭たちに与えてくださいました。この瞬間



Reconciliation

は、ヨハネの福音書において次のように描かれています。「イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたを遣わす。」そう言うてから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。だれの罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。だれの罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。」(ヨハ20・21-23)

カトリック教会は、昔から罪を小罪と大罪とに分けています。「小罪を犯すことは、小さなことがらについて、道徳律によつて定められた尺度を守らなうに、ゆるしの秘跡は、司祭の働きではなく、イエス・キリストご自身の働きですので、厳密に言えば、ゆるしの秘跡において罪を告白した人の罪をゆるすのは、この秘跡を執行している司祭ではなく、イエス・キリストなのです。司祭は、イエスの代理として、ゆるしの言葉を述べて、ゆるしの宣言をするだけなのです。言うまでもないこと意識して、自由(意図的)に重

ですが、他のキリスト者と同じように司祭も罪人ですし、ゆるしの秘跡を受ける必要があるのです。ですから、ゆるしの秘跡を受けると、司祭を信頼するのではなく、「だれの罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。」という約束を与えるべきに、司祭の口からゆるしの言葉を聞いたときに、自分の罪が必ずゆるされたという確信を持つことができるのです。

ローマの信徒への手紙の中で、聖パウロは、次のように教えています。「罪が増したところには、恵みはなおいっそう満ちあふれました。」(ロマ5・20)さらに、「神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従つて召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っています。」(ロマ8・28)つまり、罪を犯す人に対して父である神が怒ったり、この人に罰を与えたりされるのではなく、前よりも力強



く、慈しみ深く働きかけてくださるのです。そのために、罪そのものが非常に残念で、絶対に望ましくないものであっても、人間が犯した罪さえも「益となる」可能性があるので。この益とは、自分の過ちから学んで、前よりも賢くなるということもありませんが、それだけではなく、父である神とイエス・キリストとの愛の交わりを深めるということなのです。けれども、このような結果が生じるために罪を犯した人は、神に對する愛を新たにし、神と和解したい、神との愛の交わりに戻りたいと望んで、自分の罪を認め、それを告白し、ゆるしを願う必要がある、つまり、ゆるしの秘跡を受ける必要があるのです。

教会学校キャンプ

西村自然農園にて

サブリーダー高2 三谷清香

今年は今までと違ってペンションで過ごすという体験が出来て良かったです。年々人数が減ってきているけどその分やれることも違ってくるのでそれぞ

れ良さがあって楽しいと思えます。台風が重なって三日目の予定が大幅に変更してしまつたのは残念だったけど、空気が良くて野菜も採れていい経験になりました。キャンプファイヤーも花火も丁度雨が上がつてやる事が出来たので何だかんだでめぐまれた三日間だと思います。

6年 出口明宙

来年は高3で来られないし、大学生になつてから来れるかも分からないけど、またこんな体験が出来たらいいなと思います。

ぼくがここでいちばんたのしかったことは、ようかんづくりと弓矢づくりとやさいとりです。一つめのようかん作りは、竹のなかにようかんのえきを入れて、ひやして固めてそこにあなをあけて、ようかんをすすって食べて、そののこった竹をつかって水でつぼうを作りました。二つめの弓矢作りは、あき時間に竹をとってきて、なたやのこぎりを使って弓矢をつくりました。三つめの野菜とりで楽しかったのはトマトをとってたり、くすの葉でつぼうを作りました。最後の日は台風でちゆうでかえってしまつたので

ピザ作りができませんでしたがでも楽しかったのでよかったです。

5年 竹岡ゆり

キャンプファイヤーを二日目の夜やりました。まず最初にリーダーが考えてくれたゲームであそびました。おだいを1人の人がだして、その色やおだいにかんけいのあるものをリズムよくいっていいえなかつた人がアウトというゲームです。むずかしいおだいもあったのでこまじりました。次にもうじゆうが



集めてすわるというゲームです。ぼんおどりや花火、いろいろなことをして楽しかったです。

6年 三谷彰良

今年西村農園へ車で約1時間かけていきました。ついたらにわとりがいてメスが8わ、オスが1わいました。へやではウノやボードゲームのチェスとボーリングをやりました。つぎの日はキャンプファイヤーをしました。じよしはもうじゆうがりです。だんしはボーリングをやるきかくだったけど、へやでやるものだからできませんでした。たのしかったです。

第5回運営委員会

司祭団より

ボグダン師が休暇より戻られた。

報告事項

救急法講習会

7月20日(日)11時よりマリア館ホールにて開催。

参加者はアントニー神父様含め48名だった。日赤指導員2名のもと、心肺蘇生法、止血、骨折などの簡単な処置についての講習を受け、実習を行った。

パイプオルガン修理について

6月、7月に神言会管区センター、南山学園各学校及び法人事務局をまわり修復費用の寄付依頼活動を実施。

南山学園等の団体からの寄付金・205万円、個人からの寄付金・101万円、今年度分オルガン修理予算・35万円、現段階での合計・341万円となる。修復費用総額が不足するの、今年度のバザーの収益からも充当して頂きたい。不足分については今後財務委員長と相談の上どうするかを検討する。

8月7日に望月オルガンが現

状下見と応急処置を行った。

工事期間は10月27日～11月15日の予定で2階フロア全部を使用する。作業時間は、月曜～金曜8時～18時、土曜8時～17時、日曜は休み。工事期間中は予備の電子オルガンを使用し、聖歌隊は1階で歌う。

聖母被昇天祭

8月15日…全体で1000名程度参加。平日で参加できない方が多かった。事前の連絡が必要だった。

8月17日…熱中症の侍者を出すこともなく、開催できた。

避難訓練

8月24日9時半ミサ後に実施。

大勢の参加者があった。最初のアナウンスからマリア館への移動までが約10分だった。車イス、ストレッチャー等、担当を決めた方が良いと思っ

た。控室の看板置き場を考慮する。避難時に少し邪魔になって

いた。香部屋の外にステップがある。これをスロープにすること

控室側にもステップがあるの

で、営繕委員会が見積もりをと

営繕関連

はこれで達成。

り、来年度予算で検討する。

バザー準備 出店状況、チケット販売他

第2回、第3回バザー実行委員会

納骨堂関連

の報告。出店店舗数は28店舗。

新規出店者については、全て

出店を承認された。

食券販売の紙が、9月7日の

しおりに含められた。バザーでの売れ残り品の扱い

については、マリア会で検討す

る。

8月15日の17時以降に遠方から

来館された方がいて、入館でき

なかつた。

入館時間(9時～17時)の表示

が必要。案内板の作成につい

て、承認された。

ステンドグラスの外側の網入り

ガラスが割れている。しばらく

の間は飛散防止のフィルムを貼

っておく。湿気対策として業務用

平和の祈り

8月6日、9日に行っている平和の祈りについて、今後、黙とうの要否について相談していく。

敬老会

9月14日
75名が参加予定。

11時から受付開始。複数のイベントを予定。

その他

南山教会では、今年新たに26名が75歳を迎えられる。名古屋教区からメッセーじが届いた。

名古屋シエイクアウトという3分のできる防災訓練の紹介があった。

9月28日(日)南山教会の倉庫整理を実施予定。利用している各団体の各1名には出席をお願いしたい。

各会報告

典礼委員会

8月6日 8時よりミサ 平和の祈りとして

8月9日 11時より 聖体賛美式

8月15日 19時より 聖母被昇天ミサ

8月17日 9時30分より ミサ
の前に聖母行列

9月14日 十字架称賛の祝日

(南山教会は聖十字架に捧げられた聖堂です。)

9時半ミサ後 病者の塗油の秘跡

9月21日 典礼委員会定例会議

9月28日(日) 14時〜青年会を行います。

8月31日(日)、9月7日(日)各ミサ後、東日本大震災支援グッズの販売を行いました。多くの方に協力頂きました。ありがとうございます。

9月13日〜14日(土・日) NWM(ネットワークミーティング) in 埼玉に参加予定。

9月28日(日) 9時半ミサ後、中高生保護者会の予定。

9月7日(日) 11時〜スカウトの日(カントリー作戦) 教会周辺のゴミ清掃をした。

8月8日〜10日 キャンプ西村自然農園にて

今回は10月5日

ボーイ夏山に挑戦する

伊藤 宗太郎

去る8月14日、15日、16日にわたりボーイ97団は2泊3日の夏山合宿訓練を行った。ボーイ、カブ、ビーバーの各スカウト、隊長、リーダー、家族など総勢は20余名。みんなしてキャンプや野外炊事道具などの荷物をバスに積み込み、嬉々として長野県高遠青少年自然の家を目指した。台風11号や異常気象による荒れ模様を心配したが、全日程は曇りと晴天が続き、訓練は計画通りに実施できた。

最初の日には少々小雨が降ったが、キビキビと入村式を終えてボーイは野営地にテントを張り、カブ、ビーバーは所定のロッジに入室。野外炊飯のカレー調理に少し手間取ったが、何とかおいしく食べることが出来た。夜はプラネタルウムによる天体観測を楽しみ、就寝した。

翌日は現地への入笠山登山を計画していたが、連日の雨天で山道がぬかるみなので、高遠市の市街地散策に切り替えた。この行程は登山より長距離で、坂道も多くクタクタになってしまった。夜は待望のキャンプファイヤーだ。華やかに盛り上がったが、終わりに豪雨が降り出して

花火は中止。野営テントは降りしきる雨で洪水状態になり、隊長やボーイたちは雨漏り対策でんやわんやであった。しかしこのアクシデントはスカウト訓練には絶対の経験だった。最終日はワイワイガヤガヤと木製のキーホルダーや人形作りをして終了。全日程を無事に終えて、全員バスで帰宅した。ただ、乗り物酔いのスカウト若干名いて手間取った。ゴク로우サマ! オモシロカッタネ!

カトリック教会のカテキズムより

1392 通常の食べ物わたしたちの肉体的いのちにもたらすものを、聖体拝領は感嘆すべきしかたでわたしたちの霊的いのちにもたらします。復活して「聖霊によって生き、また生かす」キリストのからだを拝領することにより、洗礼の際に受けた恵みのいのちが維持され、成長し、新たにされます。このキリスト教的いのちの成長は聖体拝領によって養い続けられる必要があります。聖体は、死の時までのわたしたちの旅路の糧であり、死の時には臨終の糧として授けられます。

南山句会

平成二十六年八月二日



シヤンソンを聴くも一人のパリー祭

牧子

物干しに出れば朝蟬競ひ啼く

美智子

縁側に夏座布団をすすめけり

眞喜子

紫陽花の藍色深シミサの鐘

紀子

天国へ旅立つ姉に百合の花

とく子

三人の神父の若しパウロ祭

義子

麦熟れて輝く日々や五旬祭

聖子

水琴窟いにしへの音秋立てり

豊子

炎天下石の聖堂の祈りかな

せつ子

毎月第二水曜日午後一時半
マリア館二階集会室

信者の消息

受洗

おめでとうございます

むらかみ としなり
パウロ 村上 利成

帰天

ご冥福をお祈りします

むらかみ としなり
パウロ 村上 利成 (39歳)
みやざき じろう
パウロ フランシスコ 宮崎 二郎 (78歳)

転出

いつまでもお元気で

いとう こうすけ
コルベ 伊藤 孝祐 (布池教会)
うえのやま かずしげ
アーノルド 上野山 和成 (大和教会)
なかお れんぞう
ヨハネス・クリュヴストモス 中尾 連三 (河原町教会)

転入

ようこそ

すぎた
マリア フランシスカ 杉田 ゆき (布池教会)
むらかみ みゆき
ガラチア 村上 美由起 (佐々教会)
ふるさわ つねこ
マリア・ヴィルジニア 古澤 恒子 (岡山教会)

教会維持費

7,8月は1.978.614円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお願ひします。

2014年9月・10月行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
9月	14(日) 十字架称賛祝	7(日) 子どものミサ 14(日) 聖十字架ミサ(教会の名称の祭日)・日英合同ミサ(9:30) 14(日) 10:30病者塗油の秘跡・11:00敬老会 23(火) ボクダン師霊名の祝日	5(金) マリア会例会(懇談会) 7(日) 11:00 運営委員会 7(日) 教会学校・中高生会始業式 14(日) ヨセフ会班長会 20(土) 10:30子ども部屋	新教会建設募金
10月	ロザリオの月 19(日) 世界宣教の日	5(日) 教会美化・BBQ (19日予備) 26(日) バザー・日英合同ミサ	3(金) マリア会例会(懇談会) 5(日) 11:00 運営委員会	16(木) 司祭協議会 19(日) 世界宣教の日(献金)